

神戸地区の課題

- 未開園区域の効果的な整備推進
- 公園の魅力向上による利用活性化
- 広大な里地里山の持続可能な保全活用

社会情勢等の変化

- 新型コロナ以降の健康、自然体験等への関心の高まり
- インバウンドを含めたアウトドアアクティビティへのニーズ拡大

開園後の利用状況等

- 自然や自然環境学習に関する満足度は高い
- 市民団体の活動は活発だが、活動には課題もある
- 民間事業者の事業提案はあるが、課題も多い

計画改定の方向性

- 新型コロナ以降の健康、自然体験等への関心の高まりや、本公園の有する自然環境・当公園の自然環境学習への対応の実績を踏まえ、「里地里山文化公園」等の理念・方針を継承
- 実現手法として“里山のリノベーション※”に取り組む

・「森のゾーン」を中心に、官民連携でのアウトドア利用の導入による公園利用の活性化と里山風景の創出を目指す。

・「自然保全ゾーン」等において、産官学民の多様な主体との協働による、持続可能な里山環境の保全活用に向けたモデルとなる取組を推進する

- 上記の方針とともに、今後の保全利用を見据え、公園全体の施設配置・動線等の見直しを行う

※リノベーション（renovation）とは 修復・更新によって、機能を向上させたり価値を高めること